

先週、新聞にも報道されましたが、今年度の栃木県中学校総合体育大会、いわゆる夏の県総体は、中止となりました。理由としては3つ、1つは新型コロナウイルス感染防止のため、2つめは運動部活動の再開が未定な中、けがや熱中症対策が十分にとれないこと、3つめが授業を中心とした学校生活の通常再開を最優先とするため、です。

このことを受けて、県総体日光地区予選会いわゆる夏の地区大会についても、先日の会議で中止が決定されました。ただ、秋の新人大会や冬季スポーツの大会については、今後、開催できるかどうか検討していくということになっています。

さらに、同様な理由から、県吹奏楽コンクール、地区学校音楽祭、県中央祭についても今年度は中止となることが決定しています。

3年生にとっては、これまで活動してきたことの集大成となるであろう、活躍する場、発表する場を失ったこととなります。君たちの気持ちとしては、本当にやりきれない、途方に暮れるような思いではないかと察します。

そこで、せめてもの幕引きの場として、総体に替わるような案が、このあと競技ごとに示されるかもしれません。しかし、それですら実現できるかどうかは、何とも言えません。

ここで、みなさんに、特に3年生にお伝えしたいことは、学校が再開したときには、市の方針に従いながら、段階的に部活動を再開するので、「ぜひ部活動に参加してほしい」ということです。3年生にとって、大会やコンクールがなくなった今、部活動を行うことに何の意味があるんだ、と思う人もいるかもしれません。しかし、これまでの2年間、大会やコンクールのためだけに取り組んできたわけではいと思います。また、毎日の練習や活動は、大会やコンクールのみで完結するものでもないと思います。部活動は一人一人がさまざまな課題を掲げ、それぞれが目的意識をもって取り組むもの、つまり日々の練習や活動そのものに意義があるものだと思います。

好きなことに取り組むことで中学校生活にめりはりを持たせたい、自分の個性を生かし、特技を伸ばしたい、技能を磨き、体力・精神力を高め将来につなげていきたい、かけがえのない仲間と同じ時間を共有したい、など、目的はさまざまかもしれませんが、そのどれもが大会やコンクールで実現できるものではなく、日々の練習や活動を通して達成できるもの、だと思います。

高校野球の指導者の本に、「大切なのは、甲子園に出ることではない、甲子園に出場するにふさわしい練習を努力を、日々積み重ねていくことだ」というようなことが書いてあったことを覚えています。ぜひ、残されたわずかな期間、自分のために、ともに活動してきた仲間のために、そしてその後の活動を続けていく後輩のために、できることに精一杯取り組み、納得のできる、しっかりとした締めくくりをして欲しいと思っています。

本校では、夏の運動部で3年生が活動できる期間を、今の段階では7月10日あたりまでと考えています。文化部および冬の部活動についての活動期間は、今後、部ごとに設定することになります。

ただし、長引く休校のため、進学に向けての学習に切り替えていきたい、または、どうしても活動する意欲が湧いてこないなど、継続することができないという場合は、無理をする必要はありません。その決断はなにより優先されるものであり、途中退部という扱いにはしません。このことはみなさんも了解してください。

来週は、各部でのミーティングを計画しています。さらに顧問の先生との話合いなどを交えながら、これからの部活動への取り組みについて、今一度自分に問いかけ、答えを求めてみてください。

令和2年5月21日 日光市立東中学校長 佐々木 洋